

嵐南エステート 株式会社

DX宣言書

2024年8月19日
嵐南エステート 株式会社
代表取締役 田崎 賢治

□ 経営理念

不動産を通じて豊かな生活のお手伝いをする

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用することで、営業活動の効率化や担当者間でフォローし合える体制整備を実現し、社員全員にとってこれまで以上に働きやすい会社を目指します
- ◆ 各種契約書の将来的な電子契約の導入に向けて、紙ベースの契約書のデジタル化を進めます

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年7月)

戦略 「場所を選ばずに社内情報の共有を可能にし、営業活動の効率化を実現」

- 施策
- ・ 社外でも社内情報を確認可能とするためのタブレット端末を導入
 - ・ 社内の案件情報を集約し、一元管理できる環境を整備
 - ・ 社外ネットワークから、案件情報を保管する共有フォルダやメールにアクセスできる、ネットワーク環境を構築
 - ・ 外出時のタブレット使用について、セキュリティ面を考慮したルールを設定
 - ・ 上記施策を通じて社員一人一人が少しずつデジタルに慣れていき、さらなる効率化への基盤作りを推進

➤ フェーズ2(2025年8月 ～ 2026年7月)

戦略 「案件情報や営業ノウハウの社内共有を行い、担当者が相互にフォローし合える環境を整備」

- 施策
- ・ 社内の顧客情報を一元的に管理できるようにするため、顧客情報を共通の管理フォーマットに集約
 - ・ 状況をリアルタイムに把握するため、各案件状況を可視化・共有
 - ・ 共有された案件状況を確認し、必要に応じて作業分担などをサポートし合える体制を整備
 - ・ 各担当者のスキルアップに向け、デジタル社内掲示板を活用し、営業活動での成功・失敗事例を共有

➤ フェーズ3(2026年8月 ～ 2027年7月)

戦略 「将来的な電子契約への移行を見据えた、各種契約書の電子保管」

- 施策
- ・ 社内保管データの検索性向上を考慮した上で、フォルダ構成やファイル命名規則など契約書の電子保管ルールを策定
- 〈電子保管ルール例〉
- 例1：新規作成の契約書については、電子版を正として保管し、紙は一定期間経過後に破棄
 - 例2：過去分の契約書については、対象を絞って電子化を実施

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ 社員全員がDX推進に参加し、社内一丸となった取り組みを実行します

□ DX推進目標

- ・ 社外から案件情報にアクセス可能な環境整備 : 完了(～2025年7月)
- ・ 紙の使用量 : 2023年度比 50%削減(～2027年7月)